

泌尿器科紀要

第 10 卷 第 4 号

昭和 39 年 4 月

随想 泌尿器科紀要編集部時代の感想.....仁平 寛巳...175

²⁰³Hg-Neohydrin による腎 scintigram 及び腎摂取率の研究

第Ⅲ篇 ²⁰³Hg 腎摂取率について.....高橋 陽一...177

昭和37年度(1962)岐阜医大泌尿器科の臨床統計的観察.....

.....後藤 薫・篠田 孝・尾関 信彦・伊藤 錠二・
阿部 貞夫・足立 一郎・磯貝 和俊・木村泰治郎・
木村 英道・西 守哉...188

内腸骨動脈結紮術.....原田 直彦 福山 和宏・朝倉 保・
中谷元太郎・服部 洋...196

Bourneville-Pringle 母斑症における腎肉腫.....杉村 克治...200

停留睾丸に発生した悪性腫瘍.....近藤猪一郎...206

膀胱エンドメトリオーゼの2例.....酒徳治三郎・沢西 謙次・
松尾 光雄・田中 正躬...213

プリモボランの泌尿器科領域における臨床的応用.....小松須賀男...220

泌尿器科領域におけるアンダントールの使用経験.....稲田 務・本郷 美弥・
北山 太一・松尾 光雄...226

編集後記・購読要項・投稿内規.....234

Investgations on the Renal Scintigram and Renal Uptake Rate Using ²⁰³Hg-Neohydrin.

Part III: On the Renal Uptake Rate of ²⁰³Hg. Y. Takahashi...177

Clinical Statistics on Patients, Operations and Main Urological Examinations
in the Department of Urology, Gifu Prefectural Medical School, 1962.

.....K. Gotoh, T. Shinoda, N. Ozeki, S. Itoh, S. Abe, I. Adachi,
K. Isogai, T. Kimura, H. Kimura and M. Nishi...188

Ligation of the Internal Iliac Arteries in Severe Pelvic Hemorrhage.

..... N. Harada, K. Fukuyama, T. Asakura, G. Nakatani and
H. Hattori...196

Renal Sarcoma in Bourneville-Pringle's Phacomatosis : Case Report.

..... K. Sugimura...200

Malignant Cryptorchism..... I. Kondo...206

Endometriosis of Urinary Bladder : Presentation of Two Cases.

.....J. Sakatoku, K. Sawanishi, M. Matsuo and M. Tanaka...213

Clinical Use of Protein Anabolic Steroid "Primobolan" for Urological Diseases.

..... S. Komatsu...220

The Use of Andantol in the Treatment of Allergic Diseases at Urological Clinic.

..... T. Inada, H. Hongo, T. Kitayama and M. Matsuo...226

京都大学医学部泌尿器科学教室

Department of Urology, Faculty of Medicine,
Kyoto University, Kyoto, Japan

Editor : Prof. Tsutomu INADA

泌尿紀要

Acta Urol. Jap.

編集後記

今年1月ニ京大デ学術会議ノ大学院問題ニ関スル公聴会ガ開カレタ。学術会議会員3名ト京大大学院生代表1名ノ意見ガ述ベラレタ後ニ学術会議会員ト一般参会者トノ間ニ討議ガ行ワレタ。コノ前日ニ全国大学院生協議会ガ京都デ行ワレタ関係モアツテ全国的ニ多数ノ学生ガ出席シ質疑討論ガ活発ニ行ワレタ。会員側ノ言ニヨレバ、コンナニ盛ソナ会合ハ初メテトノ事デアル。先ズ会員側カラ種々ノ話ガ為サレタ。大学院生定員ノ充足率ハ臨床医学系ハ100%ヲ越シテイアルガ、ソレ以外ノ部門ハ多クテ80%、大多数ハ50%以下デアルトノ事。何故ニ臨床医学ノミガ大学院志願者ガ多ク、他ノ部門デハ少イノカ。ソコニーツノ問題ガアリソウダガ、ソレハトニ角トシテ、大学院ニテハ臨床医学ダケハ特殊ナ事情ニアルヨウダ。会員側カラハ、ソノ他ニ大学院制度上ノ欠陥、教官ヤ施設ノ不備、大学院終了後ノ進路、待遇ノ不明確サ等ニ就テ、詳シイ説明ガ為サレタ。次デ学生代表ハ、大学院生ノ身分ハ一応ハ学生トナツテイルガ、実態ハ何デアルカ、充分ナ研究ガ出来ニクイ態勢ニナツテイル。特ニ問題ニナツテイル点ハ、生活ノ不安定デアル奨学金制度ノ貧弱サデアル。然ルニコノ点ニ就テハ3人ノ会員ハ一言モ触レラレナカッタ。等ノ事ヲ強調シタ。次ニ討論ニ入り、全国カラノ院生代表ガ熱心ニ発言シタ。ソノ主要点ハ、院生ノ奨学金制度ヲ確立セヨト云ウ事デアッタ。奨学金ノ当タル率ハ低イシ、院生ノ生活費ヲ負担出来ル家庭ハ少イカラ、仕方ナシニアルバイトヲ行ワネバナラス。コレハ勿論、勉強ノ妨ゲニナル。コノ事ガ最大ノ問題デアッタ。コレニ対シテ会員側ハ沈黙シテオリ、一言ノ応答モナカッタ。ムシロ意外ト云ウヨウナ、アツケニトラレタヨウナ顔付キデアッタ。恐ラク院生ニトツテ生活費ノ問題ガコンナニ切実デアロウト云ウ事ハ、会員側ハ考エテイナカッタノデハナカロウカ。實際ニ、閉会ノ辞ヲ述ベタ会員ハ、会員ト学生トノ間ニハ、時代的、年令的ニ大キナ断層ガアル事ヲ初メテ実感シ、今後ハ院生ノ要求ヲ採リアゲテ行キタイト云ツタ。会員ハ大学院ノ理念基準、予算等ノヨウナ高級ナ基本的事柄ニ捉ワレテオリ、院生ハ、実生活ト云ウ切実ナ問題ニ最モ強く悩マサレテイルノデアル。現在ノ大学院制度ハコノヨウニ不備ナモノデアル。ソノナ大学院ガ実在シテイル原因ヲ徹シク追求スベキデアル（昭和39年4月）。

購読要項

1. 発行は毎月（年12回）とする。年間購読者を以て会員とする。
2. 会員は年間予約購読料金 1,200円を前納する。1冊料金 120円。払込みは振替口座番号京都4772番 泌尿器科紀要編集部、或は第一銀行百万遍支店宛。
3. 入会申込みは氏名（フリガナ）、住所（雑誌郵送先）、勤務先、職地位、自宅開業の別、送金方法を御記入の上編集部宛。

投稿内規

1. 原稿の種類は綜説、原著、臨床報告、その他。寄稿者は年間購読者に限る。
2. 原稿の長さは制限しないが簡潔にする。
3. 原稿は横書き、当用漢字、平仮名、新仮名使いを用い、片仮名には括弧を要しない。400字詰原稿用紙を用いること。附表、附図はなるべく欧文にすること。
4. 文献の書式は次の如くする。著者名：誌名、巻数：頁数、年次。
例。中野：泌尿紀要，1：110，昭30。Lazarus, J. A. J. Urol., 45：527, 1941.
5. 300語以内の欧文抄録を記し、之には欧文の標題、所属機関名、ローマ字著者名を付け、なるべくタイプライターを用いること。希望の場合は当編集部にて翻訳します。抄録用の原稿を送ること。翻訳の実費は申受く。
6. 掲載料は4頁迄毎頁600円、それ以上の頁、アート頁、図表、写真は実費を申受ける。別冊20部を無料贈呈、それ以上は実費を徴収する。この場合には予め希望部数を申込むこと。特別掲載も考慮する。
7. 校正是初校のみ著者校正とし、再校以降は編集部が行う。
8. 原稿送り先は京都市左京区聖護院 京都大学病院 泌尿器科紀要編集部。